

まだらの風



令和8年 2月12日
学校便り No.19
校長 原口 真

『 育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

2学期からとりかかった防波堤壁画が完成しました。150周年を記念する大作で、小学生の頑張りと保護者有志の方のご協力で色あざやかな大作を仕上げることができました。白灯台に向かって行くと見ることができます。

干物づくり体験～地域の方に伝統を学ぶ

1月30日、干物づくり体験を行いました。講師として地域の釣場さん、山下さんのご協力をいただきました。子どもたちは一人ひとり包丁を持って、ゼイゴ、ウロコ、トゲやヒレを落としてワタをぬき、おなかと頭を開いて身を洗います。低学年の子どもは恐る恐るですが、高学年や中学生ともなると10数匹の魚を手際よくさばいていきます。実は子どもたちにたくさん魚をさばいて持ち帰ってもらうようにと、職員有志で夜釣りをしてアジを追加しておきました。さばき終わった魚は塩水につけて上下ひっくり返してから真水で身を流し洗い、魚干し網に入れて天日にさらしました。子どもたちは「たくさんさばけて嬉しかった」「講師の先生に指導してもらってみんなで協力できた」「馬渡島の環境の良さがわかった」などと振り返っていました。出来上がった干物は各家庭にたくさん持ち帰ってきたと思いますがお味はいかがだったでしょうか？



ストレス・マネジメント講座～ストレスと上手につきあうには？

2月5日、中学生を対象にスクールカウンセラーの山中先生から「ストレス・マネジメント」の授業を行っていただきました。ストレスクイズを通して、ストレスはあっても良いこと、いいストレスと悪いストレスがあること、ほうっておいてもなくなるということ等を学び、ストレスチェックで自分の状態を確認しました。ストレスの解消法として、ストレスを「克服する」か「回避する」の選択肢があることと、和らげる方法として腹式呼吸の深呼吸やストレッチを体験し、前向きな言葉で考えること、好きなことに熱中すること等を教えてもらいました。子どもたちにとって家はくつろげる場所で、学校での勉強にはやはりストレスを感じているようです。これからも勉強することには向き合っていくことになるので、ストレスと上手につきあって自身の成長につなげてもらいたいと思います。



音楽発表会～ギター演奏と「まだらだから」合奏を披露しました

2月12日、中学生6人による馬渡中学校音楽発表会を開催しました。生徒たちは馬渡島出身の山口さんのご協力や池田先生、三浦先生の指導を受けて10月からギターの練習をはじめ、保護者さんや小学生に聞かせたいと考えて発表会を企画しました。1曲目は「垂麻色の髪の乙女」のギター演奏。毎週重ねた練習のおかげでコード進行と一人ひとりソロのメロディを奏でることができ、教えてくださった山口さんも「とてもよく弾けていました」と喜んでくださいました。2曲目はピアノ、バス、ドラム、シンバル、ベース、電子ピアノで「まだらだから」の合奏を披露。10月の文化祭のとき以上に一体感がある演奏で会場からは大きな拍手をいただきました。参観した方からは「とても上手な演奏だった。ギターを弾くのはなかなかできないことなのでこれからも続けてほしい」「今年のまだらだからお披露目を思い出した。タオルをふって応援したかった」「演奏を聴きながら馬渡島の海や空が頭の中に浮かんできた」などと感想をいただきました。子どもたちの演奏を聴きにたくさんの保護者様にご参観いただきありがとうございました。

